

「頭の中を POS に！(特別編)」とは、どんなワークなのでしょう？

「頭の中を POS に！」って何？

「頭の中を POS に！」するグループワークは、薬剤師の患者対応技術をみがくための総合演習として、服薬ケア研究会で開発したオリジナルのワークです。「気付きポイント」を見つけ、プロBLEMを探しながら「気付きポイント」を掘り下げ、得られた情報を整理・クラスタリングしてプロBLEMを明確にしていくすべてのプロセスを、このワークで実践的に学ぶことができます。また、提示された模擬症例に基づき、きちんと患者背景を作りこんだ患者役を相手にロールプレイを行うため、患者対応技術についても同時に学ぶことができます。質問の良し悪しによって得られる答えが違ってくことを、具体的な体験を通して学ぶことができます。

書籍「薬局薬剤師の患者対応」で紹介されています。



このワークは、当研究会の会頭である岡村祐聡先生が考案されたもので、先生のご著書「薬局薬剤師の患者対応」に紹介され、非常に反響を呼んでおり、問い合わせも多数寄せられています。今回は特に、岡村先生が直接チューターを行う「特別編」を開催することにより、気付きポイントの掘り下げ方、アセスメントを育てて行くための考え方、必要な情報得るための「追加の質問」の適切な組み立て方を、グループワークを通して直接ご指導いただけますので、「服薬ケアステップ」の考え方を学び、身に付けるためには最適のチャンスと言えるでしょう。本を読むだけではわからない実践的なやり方を、模擬症例を題材として一緒に考えながら「明日から即使えるやり方」として学ぶことができます。これまでに参加された方からも、さっそく次の日に「何年もお薬をお渡ししている患者さんから、今まで聞かされていない話を初めてしてもらえた！」という喜びの声をいただいております。

なお、当日はこの書籍「薬局薬剤師の患者対応」をテキストとして用いますので、必ずよく読んで予習をしてからご参加ください。特に第 3 章「服薬ケアステップ」(p57～p86)が大切です。

そのワークはどのように行うのですか？

詳細な模擬症例が用意されていますので、模擬症例を元にその患者さんのプロBLEMを探しながら、実際にロールプレイにて患者対応を行い、SOAP 形式で薬歴を記載します。ただし、実際には 3 分から 5 分程度で終わってしまう一人の患者さんとの対応を、平均 3 時間以上かけて進めていきます。一つ一つの対応を行うたびに会話を止め、薬剤師役であるワーク席の参加者全員がディスカッションを行いながら、「どのように考えるのか」「どのように質問するのか」などを話し合い、最適の対応を探して行きます。薬剤師役の意見が揃ったら、その場で患者役の参加者とロールプレイを行い、得られた情報を加えてさらにその後どのように進めて行くのかをまたディスカッションします。このように、一つ一つをディスカッションしながら「どのように考えて行くべきか」を丁寧に探っていくことにより、日ごろ行っている自分の患者対応が本当に最適なものなのか、もっとハイレベルの患者対応へとスキルアップするためにはどうすればよいのか、体感的に学ぶことができます。特に岡村先生がチューターをしてくださる今回は、要所所所的確なアドバイスや解説をいただけますので、考え方を学ぶためにはまたとないチャンスです。

オブザーバー席は、ワーク席とどのように違うのですか？ 見ているだけで勉強になるのでしょうか？

ワーク席での参加は、直接薬剤師役としてのディスカッションに参加しますので、自分の実力を直接高めて行きたい方は、ぜひワーク席でご参加いただくことをお勧めします(ワーク席は定員に限りがあります。先着順で受け付けますので、早めにお申し込み下さい)。患者役とのロールプレイはワーク席の方に行っていただきます。

オブザーバー席では、チューターから直接指されることはありませんので、まだ服薬ケアステップの考え方がなれていない方、あるいは緊張しがちな方は、落ち着いて考え方を学ぶことができます。指されることはありませんが、挙手をして意見を言うことは可能ですので、どうしても言いたいこと、聞きたいことがある場合には、議論にも参加できます。ワーク席の参加者が最適なケアを目指して行く過程を見ながら、岡村先生の解説を聞き、自分の普段の対応との違いを振り返ることができますので、オブザーバー席の方が勉強になる方も多いことでしょう。

前に一度参加したことがあります・・・

「このワークは、薬剤師としての患者対応を学ぶために必要な、すべての力を付けることができる総合的な訓練ですので、薬剤師としての本物の実力を付けるためには、症例を変えて何度でもやってみてください。」と岡村先生より教わっています。当研究会では、毎回必ず症例を新しく作り変えておりますので、何度ご参加いただいても必ず新たな発見があり、勉強になるはずです。ご都合つく方は、ぜひ何度でもご参加ください。

頭の中を POS に！(特別編)

～ 薬剤師の患者対応技術をみがく～

「服薬ケア研究会」とは？

服薬ケア研究会とは、「真の意味での患者中心の医療」をモットーに、薬剤師の医療について考え実践している非営利の研究団体です。

“服薬ケア”の普及のため、勉強会や講演会などを全国各地で実施しております。

(入会金 2000 円 年会費 5000 円)

ご参加の方は、岡村会頭の著書「薬局薬剤師の患者対応」の第3章(p57～p86)を必ず事前に予習の上、当日ご持参下さい。

(書店で手に入りにくい場合には、参加と同時に申し込めます。[特別割引有])

《 服薬ケア研究会第 37 回例会開催要項 》

日本薬剤師研修センター認定研修(3単位)

日時：平成 19 年 3 月 11 日(日) 10:00～16:30

場所：機関紙会館 (〒602-8026 京都市上京区新町通丸太町上ル TEL 075-231-3048)

内容：[講義]：「薬剤師の患者対応技術」

[グループワーク]：「頭の中を POS に！」

講師：服薬ケア研究会会頭 岡村 祐聡(おかむら まさとし)先生

参加費：服薬ケア研究会会員 3,000 円 非会員 5,000 円 同時入会 10,000 円

同時入会で参加費は会員料金になります。ただいまの入会は平成 20 年 3 月末まで会員資格があります。

募集人数：ワーク参加席：15 名 オブザーバー席：35 名 合計 50 名限定 先着順。

ただし参加費入金をもって受付完了となります。お申し込みの上、お早めにご入金ください。

問合せ先：〒305-0023 茨城県つくば市上ノ室 579-1 ISビル2階A号 FAX 029-857-9038

ホームページ <http://www.fukuyaku.net/> E-MAIL: jimukyoku@fukuyaku.net

< 第 37 回例会(3/11 京都)に申し込みます >

FAX 送信:029-857-9038

(同内容のメールでも承ります)

お申し込みいただきましたら、折り返し入金方法など参加に関する詳細のご案内を差し上げますので、メールアドレスまたは FAX 番号を必ずご記入ください。
同時入会ご希望の方には、その際入会申込書をお送りいたします。

(ふりがな)

氏名： _____ 電子メール： _____

(自宅・勤務先)

住所：〒 _____

(自宅・勤務先)

(自宅・勤務先)

電話： _____ FAX： _____

勤務先名： _____ 職種： _____ 当研究会の会員ですか？： はい・いいえ

参加希望区分： ワーク ・ オブザーバー (をつけてください。ご希望がなければオブザーバー参加となります。)

テキスト「薬局薬剤師の患者対応」ご希望の方は以下にご記入下さい。
(参加者のみ定価 2,625 円(税込)のところ **2,300 円(税込)** 送料無料)

() テキスト 冊購入希望します。

ご希望の方はここに必ず を付けてください。

同時入会ご希望の方は以下に を付けて下さい。

() 同時入会希望します